

# 令和8年度 町の予算

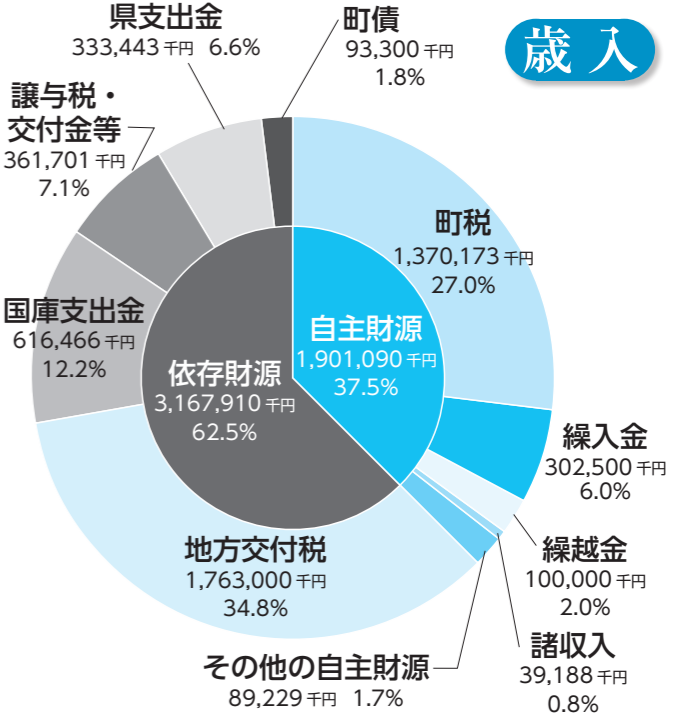
## 一般会計総額 50億6,900万円

### 一般会計歳入

令和8年第一回定例議会在3月3日から19日まで開かれ、令和8年度の当初予算が可決されました。一般会計予算額は、50億6,900万円です。前年度と比較して1億200万円、2.1%の増額となりました。一般会計を除く4つの特別会計の合計は、28億8,129万円となり、水道事業会計と農業集落排水事業会計の2つの公営企業会計の合計は、4億3,251万円となりました。

ここでは、一般会計を中心にその概要をお知らせします。

また、地方交付税、国・県支出金、町債などの「自主財源」は、31億6,791万円となりました。地方交付税、県支出金などの増加により、前年度と比較して1億6,492万4千円増加しています。歳入に占める割合は、自



### 目的別歳出

会計名	令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
特別会計				
公平委員会	287	286	1	0.3%
国民健康保険	1,271,475	1,230,455	41,020	3.3%
介護保険事業	1,348,072	1,365,289	△ 17,217	△ 1.3%
後期高齢者医療	261,456	222,621	38,835	17.4%
計	2,881,290	2,818,651	62,639	2.2%
水道事業会計				
収益的収入	303,552	306,591	△ 3,039	△ 1.0%
収益的支出	294,604	300,134	△ 5,530	△ 1.8%
資本的収入	400	39,143	△ 38,743	△ 99.0%
資本的支出	70,551	94,569	△ 24,018	△ 25.4%
農業集落排水事業会計				
収益的収入	68,536	62,906	5,630	8.9%
収益的支出	62,676	62,901	△ 225	△ 0.4%
資本的収入	80	80	0	0.0%
資本的支出	4,680	0	4,680	皆増

※水道事業会計において、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する70,151千円は、過年度分損益剰留保資金で補てんします。  
※農業集落排水事業会計において、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する4,600千円は、未処分利益剰余金で補てんします。

### 特別会計予算

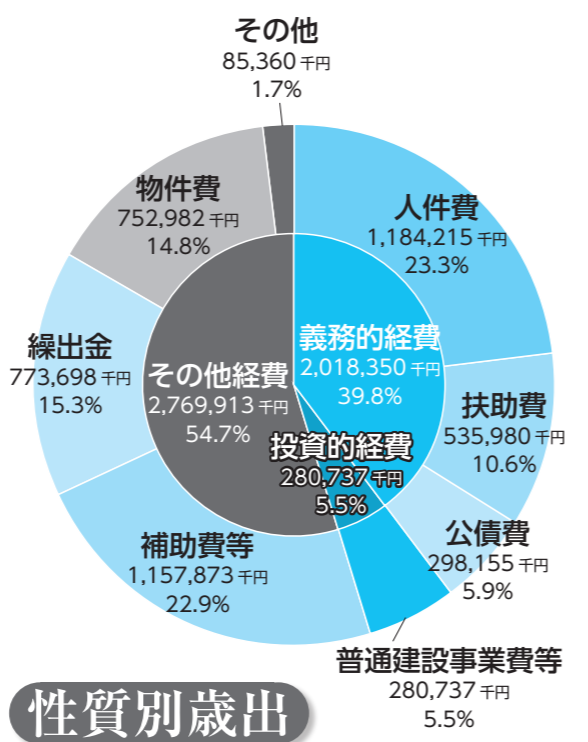
主財源が37.5%、依存財源が62.5%となり、自主財源が高いほど、町の自主性が高まり、財政も安定します。

### 一般会計歳出

歳出に占める割合の最も大きい民生費は、17億9,617万6千円で、35.4%となりました。前年度と比較し、6,183万3千円、3.6%増加しました。主な要因は、児童館の整備や後期高齢者医療関係費が増加したことによるものです。

次に、総務費は、8億6,581万2千円で、全体の17.1%を占め、前年度と比較して4,898万円、6.0%増加しました。これは、防災行政無線操作車の入れ替え工事やお試し住宅整備事業に要する経費が増加したことによるものです。

また、衛生費については、5億26万9千円で、前年度と比較し、7,652万3



### 目的別歳出

【財政用語の解説】町の会計の中心をなすもので、行政運営の基本的な経費を網羅して計上した会計です。

【一般会計】町の会計の中心をなすもので、行政運営の基本的な経費を網羅して計上した会計です。

【特別会計】特定の歳入・歳出を一般の歳入・歳出と区別して個別に処理するために設けられた会計です。

【自主財源】町税、使用料及び手数料など、町が自主的に収入とすることができる財源を占めています。

【依存財源】地方交付税、国・県支出金、町債など、国や県などにより定められた額が交付されたり、割り当てられたりする収入を言います。

【目的別分類】支出の行政目的を基準として分類したもので、町の行政目的別の予算の比重を知ることができます。

【性質別分類】支出の経済的性質を基準として分類したもので、財政の健全性や弾力性を知ることができます。

【義務的経費】人件費、扶助費及び公債費などのように、支出が義務づけられ、任意に削減しにくい経費を言います。

【投資的経費】普通建設事業費や災害復旧費のように、支出の効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものに支出される経費を言います。

次に、総務費は、8億6,581万2千円で、全体の17.1%を占め、前年度と比較して4,898万円、6.0%増加しました。これは、防災行政無線操作車の入れ替え工事やお試し住宅整備事業に要する経費が増加したことによるものです。

また、衛生費については、5億26万9千円で、前年度と比較し、7,652万3

次に、総務費は、8億6,581万2千円で、全体の17.1%を占め、前年度と比較して4,898万円、6.0%増加しました。これは、防災行政無線操作車の入れ替え工事やお試し住宅整備事業に要する経費が増加したことによるものです。

また、衛生費については、5億26万9千円で、前年度と比較し、7,652万3

町民一人当たりに使われる金額 <b>473,783円</b>			
議会費	6,570円	商工費	10,041円
総務費	80,925円	土木費	34,905円
民生費	167,883円	消防費	29,874円
衛生費	46,758円	教育費	45,934円
労働費	9円	公債費	27,868円
農林水産業費	22,360円	その他	656円

町民一人当たり町税の内訳 <b>128,066円</b>	
町民税	55,445円 (43.3%)
固定資産税	63,639円 (49.7%)
軽自動車税	3,880円 (3.0%)
町たばこ税	4,829円 (3.8%)
入湯税	273円 (0.2%)

### 一人あたり